

株式会社クレディセゾン(8253) 2015年度決算発表

持続的成長を実現可能にする基盤構築を強力に推進
国内でのキャッシュレス化の促進・アジア圏内でのリテール金融ビジネスへの本格的参入

2015年度は、「アジアにおいて他にない新たなファイナンスカンパニー」を目指し、持続的成長を実現可能にする収益基盤の構築を強力に推進いたしました。

国内では、キャッシュレス社会の実現に向け、個人・法人それぞれのニーズに応える決済手段の拡充や利便性の向上に取り組みました。また、ネット会員基盤を活用したフィービジネスの拡充を図り、オープンイノベーションにより新たな収益を生み出すビジネスモデルの構築を加速しました。さらに、信用保証事業やファイナンス事業などノンバンクビジネスの強化により、多様な資金ニーズに対応したファイナンス機能の提供により、良質債権の積み上げに取り組みました。

一方、アジア圏内では、国内で培ったリテールファイナンスのノウハウを活かし、ベトナム、インドネシアにおいて、現地企業とのコラボレーションにより、本格的にリテール金融ビジネスへ参入いたしました。

当連結会計年度のセグメント別概況は次の通りです。

1. 営業概況

(1) クレジットサービス事業

カード会員を拡大し顧客基盤を拡充。稼働会員の増加によりショッピング取扱高・リボルビング残高が伸長し、営業収益 2,042 億円（前期比 2.5%増）。

<国内>

- ① 「三井ショッピングパークカード《セゾン》」など、新規開業が相次ぐ提携先企業と共同での会員募集を強化し、新規カード会員数は 262 万人（前期比 10.5%増）、カード総会員数は 64 万人増加し、2,561 万人（前期末比 2.6%増）、稼働会員数は 19 万人増加し、1,477 万人（前期末比 1.3%増）となりました。
- ② 提携先小売店舗を中心としたカード利用活性プロモーションやリボルビング払いの訴求に加え、公共料金やふるさと納税などのカード払い促進強化により、ショッピング取扱高は 4 兆 2,582 億円（前期比 4.1%増）、リボルビング残高は前期末より 438 億円増加し、3,387 億円（前期末比 14.8%増）と伸長しました。
- ③ プリペイドカードの推進では、新たに2016年3月から川崎アゼリア(株)と「アゼリアカード」、信州を中心に事業展開するアルピコホールディングス(株)と「ポイント&プリペイド・ピコカ」の発行を開始し、カードラインナップを 13 種へ拡大。プリペイドカードの総発行枚数は 2,969 万枚となりました。
- ④ 企業規模・ニーズに応じた法人向けカードやサービスの導入を強力に推進し、新規法人向けカードの発行は前期比 31%増加、取扱高は前期比 15%伸長しました。
- ⑤ ネットビジネスの基盤となるネット会員は 130 万人増加し、1,251 万人（前期末比 11.6%増）に拡大しており、ポイントモール「永久不滅.com」のサイト内広告などのインターネット広告事業収益が前期比 14.1%増加しました。また、スマートフォン用アプリ「セゾン Portal」「UC Portal」が 143 万ダウンロードに伸長するなど、ネットサービス全般の利用促進に努めました。

<海外>

- ① ベトナムの現地企業と合弁事業を開始した「HD SAISON Finance Company Ltd.」において、ベトナム全土に 5,000 を超える営業拠点を拡大させ、二輪車や家電販売ローンを中心に取扱件数・取扱高ともに伸長しました。
- ② インドネシアでは、小売事業を展開する現地企業とマルチファイナンス事業を行う合弁会社「PT.Saison Modern Finance」を設立しました。

(2)リース事業

既存主力提携販売店との信頼関係強化や新規重点販売店への積極的な営業に取組んだ結果、営業収益 135 億円（前期比 2.9%減）。

主力提携販売店との共同キャンペーンの実施や信頼関係強化に取組み、貸倒関連費用の抑制に努めました。

(3)ファイナンス事業

フリーローン保証から住宅購入や資産形成まで、多様な資金ニーズに対応した商品性を強みに良質債権を積み上げ、営業収益 273 億円（前期比 19.8%増）。

- ① 信用保証事業は、地方銀行や信用金庫など地域金融機関との連携強化に努め、新たに 12 先と提携したことにより、提携先数は 392 先（前期差 10 先増）、保証残高は 2,979 億円（前期末比 13.7%増）となりました。
- ② 【セゾンの住宅ローンパッケージ】の新たな商品ラインナップとして、2016 年 2 月より、住宅購入時の諸費用に対応した「セゾンのホームアシストローン」の取扱いを開始しました。長期固定金利住宅ローン「フラット 35」は、実行金額 976 億円（前期比 38.5%増）、住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高は 3,556 億円（前期末比 25.3%増）となりました。
- ③ 投資用不動産購入をサポートする「セゾンの資産形成ローン」は、有力な提携先との連携により、実行金額 616 億円（前期比 65.1%増）、貸出残高は 1,262 億円（前期末比 86.4%増）と大幅に伸長しました。

(4)不動産関連事業

活発な不動産市場での積極的な営業展開により、営業収益 154 億円（前期比 18.2%増）。

連結子会社（株）アトリウムは、不動産市況を追い風に営業展開を積極的に進め、整理事業における大型案件の売却や開発案件が確実に進捗したことにより、不動産事業の再構築計画は 2016 年 3 月末をもって予定通り完了しました。

2. 経常利益・純利益概況

今後の持続的成長に向けた事業基盤を強化する一方、利息返還請求の動向や今後の予測等を踏まえ、利息返還損失引当金を繰入れた結果、営業収益 2,699 億円（前期比 4.2%増）、営業利益 365 億円（同 8.9%減）、経常利益 438 億円（同 0.3%増）、当期純利益は 261 億円（同 107.2%増）となりました。

3. 次期の見通し

2016 年度通期の連結業績予想は、営業収益 2,780 億円（前期比 3.0%増）、営業利益 420 億円（同 14.8%増）、経常利益 500 億円（同 14.1%増）、当期純利益 385 億円（同 47.2%増）、個別業績予想は営業収益 2,396 億円（4.8%増）、営業利益 373 億円（26.0%増）、経常利益 400 億円（22.6%増）、当期純利益 285 億円（同 11.5%増）を見込んでおります。

また、次期の配当に関しては、業績予想を踏まえ、当期の配当予定と同額の 1 株 35 円を予定しております。

以上

(ご参考)2015 年度 単体業績

(1)新規カード開拓枚数	:	330 万枚	(前期比 9.8%増)
(2)新規カード発行枚数	:	262 万枚	(前期比 10.5%増)
(3)カード総会員数	:	2,561 万人	(前期末からの純増数 64 万人)
(内ネット会員数)	:	(1,251 万人)	(前期末からの純増数 130 万人)
(4)稼働会員数	:	1,477 万人	(前期末からの純増数 19 万人)
(5)カードショッピング取扱高	:	4 兆 2,582 億円	(前期比 4.1%増)
(6)カードショッピングリボ残高	:	3,387 億円	(前期末比 14.8%増)
(7)カードキャッシング取扱高	:	2,677 億円	(前期比 3.4%減)
(8)カードキャッシング残高	:	2,165 億円	(前期末比 0.8%減)
(9)営業収益	:	2,287 億円	(前期比 4.3%増)
(10)経常利益	:	326 億円	(前期比 15.2%減)
(11)当期純利益	:	255 億円	(前期比 126.0%増)